

第8回 大井川流砂系総合土砂管理計画検討委員会
議事要旨

日時：令和4年3月7日（月）13：30～15：00

Web 会議

【議事】

1. 本会議の論点
2. 総合土砂管理計画の位置づけ
3. 第一版のフォローアップ
4. 第二版の検討
5. 今後の検討

【議事要旨】

1. 本会議の論点

事務局説明 事務局より、大井川流砂系総合土砂管理計画の本委員会の論点について説明
主な意見等 特になし

2. 総合土砂管理計画の位置づけ

事務局説明 事務局より、総合土砂管理計画の位置づけについて説明
主な意見等 特になし

3. 第一版のフォローアップ

事務局説明 事務局より、第一版のモニタリングについて説明
主な意見等

(1)モニタリング全般

- 「第一版で示されるモニタリング項目に対して、それぞれのモニタリングの目的に対応した実施内容・結果の報告が必要」旨の意見

(2)水文関係

- 「潮位面の上昇は河口部の土砂堆積等に影響する可能性があることから、適宜モニタリングを実施していただくことが必要」旨の意見

(3)土砂生産・流送領域

- 「衛星を活用したモニタリングは有用であるが、森林限界以上を評価している恐れもある。個々の崩壊地に着目した検討が必要」旨の意見

- 「個々の崩壊地を見る上で、河川への土砂流入に大きく寄与している崩壊地を考慮していく必要がある」旨の意見

(4) ダム領域

- 「計画堆砂量に対する現在の堆砂率を整理することで、今後の対応方針の議論が可能になる」旨の意見

(5) 河道領域

- 「砂利採取との関連や比高差についての図面など、細かなデータ整理をしていく必要がある」旨の意見
- 「流路の変化など面的な分布についても確認していく必要がある」旨の意見

(6) 海岸領域

- 「評価においては短期の時間スケールと長期の時間スケールを切り分けて実施していく方が良い」旨の意見
- 「粒径等の経年変化も併せて把握できると良い」旨の意見

4. 第二版の検討

事務局説明 事務局より、第二版の検討について説明

主な意見等

(1) 上流モデルについて

- 「畑薙第一ダムの堆砂傾向について、1982年の土砂流入など、特異な時期については、どのような流入であったか確認をしておくことが良い」旨の意見
- 「上流モデルの構築にあたっては赤石ダムや更に上流での崩壊が発生した場合など、適宜モデルを拡張してほしい」旨の意見

(2) 下流モデルについて

- 「再現計算の結果については、特に堆積が進んでいる箇所などで粒度分布が実績値と合うかどうか確認をしておく方が良い」旨の意見
- 「粒径集団Ⅰ'やⅡの流入傾向については、流入土砂量の調査に基づくモデル改善・再現計算の結果と河道領域でのモニタリング結果の比較を通じて随時見直しを図っていくことが必要である」旨の意見

3. 今後の予定

事務局説明 事務局より、今後の予定について説明

主な意見等 ●「第二版の策定については、流砂系協議会とのキャッチボールをしつつ管理者間で共通認識をもって進めていくことが大切である。」との意見。

以 上